



まち
福祉の
づくり
KYOTO
2023 No.188

【特集】

kyoto
こころつながる
プロジェクト

kyoto こころつながるプロジェクト

誰ひとり取り残さない社会をめざして
～京からふたたびつながる～

kyoto
こころつながる
プロジェクト

「kyoto こころつながるプロジェクト」は、京都市社会福祉協議会、各区社会福祉協議会が、すべての人が支え合いながら共に生きていく地域共生社会を目指すための取組です。

一人ひとりが安心できる、開かれた居場所づくり

2022(令和4)年10月14日、中京区の QUESTION で、「これからの居場所づくりで大切にしたいこと」を考えるシンポジウムを開催しました。参集とオンライン配信で開催し、約 230 名が参加しました。

一人ひとりが安心できる、開かれた場とは キーワードは「参加」

永田 祐 さん(同志社大学社会学部 教授)

▶ 居場所が求められている理由とは？

「居場所とは、単に『居』る『場所』を指すわけではありません。人と話せて、ありのままの自分であることができ、役割や出番がある。そんな場所のことです」と説明されました。

ではなぜ今、居場所が必要とされているのか。その背景には、人と人とのつながりが希薄になっていることがあります。孤独・孤立の実態把握に関する全国調査(令和3年)によると、「同居していない家族や友人たちと直接会って話すことがまったくない人」の割合が 11.2%にも上っています。長引くコロナ禍の影響による外出制限も、高齢者を中心として孤立に拍車をかけているようです。

▶ 自ら SOS を発信する難しさ

「孤立している人の特徴の一つに、自ら声をあげるのが難しいことがあります。困難な状況を自己責任とみなす社会的風潮も圧力となっています」と永田さん。孤立した状態が続くと、認められる場や機会がなくな

り、その人の役割まで失われてしまう。それに伴い、自尊心や自己肯定感まで低くなってしまおうと言います。

現在の孤立した状況は、自分に責任がある一。そんな風に考えると、ますます声をあげることができなくなります。生きる意欲が低下していたり自暴自棄になっていると、支援を受けようとする力まで弱ってしまいます。こうした状況が自殺者数やDV相談件数、児童虐待相談対応件数の増加にも結び付いているようです。

▶ 出会い・つながり・元気

孤立を解消するためには何が重要なのか。それは、つながりが弱い人が参加できる開かれた場です。キーワードは参加であり、ここで言う参加とは「社会の中で、その人らしく、他の人と一緒に何らかの役割を果たす活動や関係に関与していくこと」です。人と人が出会い、つながりが生まれ、元気になる。それが可能な空間が「居場所」なのです。

居場所に必要なのは「安心」できて「役割を発揮できる」ことだと強調する永田さん。「支援者どうしが連携しながら、一人ひとりに合った多様な居場所や活動が増えていくことが大切だと思います」と締めくくると、場内は大きな拍手に包まれました。





永田 祐 さん
同志社大学 社会学部 教授



中澤 博子 さん
山科区・安朱学区社会福祉協議会 会長



宇野 明香 さん
NPO法人happiness 理事長



三宅 正太 さん
NPO法人山科醍醐こどものひろば
ファシリテーショングラフィッカー

まずは自分たちがワクワクすること

中澤 博子 さん

(山科区 安朱学区社会福祉協議会 会長)
「フリースペースみんなの家★山科 アルモンデ」

子ども連れから高齢者、障がいのある方もない方も予約無しで集えるフリースペース「アルモンデ」。中澤さんは名前の由来について「あるものでつくるから」と笑顔で話されました。設立から約7年、参加者とスタッフが一つになって運営を続け、今では地域になくてはならない存在です。

中澤さんが大切にしているのは、自分たちがワクワクすること。それが参加者に伝わると、参加者はお客様ではなく当事者になる。いろんな意見も出れば、助けあう気持ちも生まれてくると言います。

「ひと昔前は、縁側での将棋や井戸端会議が、人と人をつないでいました。私は、それらに代わるものを作りたかったのです」

あそこに行けば、誰かがいる。安心して話せる。元気になる。友達ができる。次の約束ができる……。人間関係が希薄になりがちな今だからこそ、人の温もりを感じられる居場所が果たす役割は大きいのです。最後に中澤さんは、これまでの活動記録を絵日記風にまとめた冊子を紹介し、新たな1ページを刻めるよう邁進すると力強く話されました。

自分で全部できなくてもいい

宇野 明香 さん

(NPO法人happiness 理事長)
「ハピネス子ども食堂、ハピネスカフェ、ハピネスハウス」

子どもの居場所としてスタートされた「ハピネス子ども食堂」。その資金調達のためにはじめた「ハピネスカフェ」は、高齢者にとって貴重な交流の場となっています。喫茶店のほか、パソコン教室やスマホ教室などのイベントも開催し、好評を博しているそうです。

活動を始めたきっかけは、児童虐待のニュースを見て自分に何かできないかと思われたことからでした。今では通っていた子どもがボランティアとして手伝いに来たり、他の食堂で活躍していたりと成長を実感できてうれしいと話されます。

運営していく中で困りごとが出てくると、あえてみんなに共有。そうすると手伝ってくれる人が現れます。「私は〇〇ができます!」という人は少ないけれど、「できることなら手伝うよ」と応援してくれる人は多いとのこと。自分で全てのことを解決できなくても、みんなの力によりよい居場所となっています。

今後は、本を通じて多様な人々が交流できる「まちライブラリー」の開設を予定されています。たくさんの方が集まり、年齢や性別を越えた交流の輪がますます広がっていきそうです。



理解を深める
庄巻のグラフィック
レコーディング



永田さんのリードで終始なごやかに進んだシンポジウム
(キーワードはグラフィックレコーディングより合成)

ワークショップ／交流イベント



京都市福祉ボランティアセンターでは、2022(令和4)年10月16日にゼスト御池河原町広場にて、様々な立場の方や活動と出会うきっかけの場づくりとして、ワークショップ／交流イベントを開催しました。当事者支援団体や福祉施設、啓発団体などの団体と当事者が参加し、ワークショップやミニコンサートなどを通じて多くの方との交流を行いました。

思いが集まる 結びつく

- ▶ 京都市ユースサービス協会
- ▶ 京都府共同募金会
- ▶ 京都人権擁護委員協議会
- ▶ 京都民事調停協会



「1人でも多くの方とつながるきっかけに」と、子ども向けミニゲームや風船等のノベルティ配布などの啓発活動が行われ、多くのお子さんの笑顔が見られました。また、団体同士も交流を深め、他団体の活動から刺激を受けたと話されるなど、多くの思いがつながり合い、結びつく場となりました。



みんなで作る 1つのチャレンジ

- かのん
▶ 加音西京極作業所



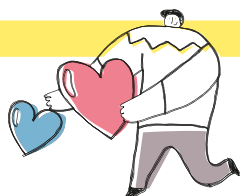
作品展示や雑貨販売のほか、木工ストラップ作りのワークショップを行いました。実はこの木工ストラップ作り、今回が初の試みでしたが、子どもにも大人にも大人気！当日参加できない利用者さんを中心に材料作りをされるなど、みなさんで知恵を出し合って、多くの方が楽しめるように素敵な工夫をされていました。



思いが届く 輪が広がる

- ▶ 京都市長寿すこやかセンター

若年性認知症に関する啓発活動が行われました。なかでも、若年性認知症当事者が思いを話される動画が上映されると、足を止めて聴き入る方がたくさんおられました。当事者の声が多くの方に届き、そこから関心の輪が広がっていく機会となりました。



出会って いっしょにワクワク

- ▶ 若者と家族のライフプランを考える会 (LPW)

ひきこもりの人への支援を行う LPW による作品販売や活動紹介、エコバッグ作りのワークショップなどを行いました。ワークショップでは、小さなお子さんでも楽しめるよう、当事者がレクチャー役として活躍しました。こだわりのエコバッグを作るべく、ともに奮闘するお子さんと当事者の姿が見られました。





ともに模索し 奏でた 音色

本イベントでは、バンド演奏を行う LPW とトーンチャイム演奏を行う加音西京極作業所による合同のミニコンサートも開催しました。それぞれ豊富な演奏経験をお持ちですが、他団体との合同演奏は初めて。ボランティアセンターからの発案で始まった挑戦でしたが、お互いの音源を用いた練習やオンラインでのリハーサルなどを経て、当日は美しいハーモニーが響きました。ゼスト御池を行き交うたくさんの方が、素敵な音色に耳をかたむけました。

これからの「孤立」と向き合う

若者と家族のライフプランを
考える会 (LPW) 河田 桂子さん



加音さんとのコラボのコンサートでは、人前での演奏が初めてのメンバーも多く、団体・メンバーそれぞれにとって世界が広がるきっかけになったと感じています。コロナ禍の影響で、つながりがなくなってしまった方やつながることができなかった方も多く、それにより、これから新たな課題が見えてくるだろうと考えられます。LPW としては、「ひきこもり」に限ることなく、「孤立」をキーワードに様々な活動に取り組んでいきたいです。

みんなで楽しみ、つながった一日

加音西京極作業所
佐々木 輝さん



新たなチャレンジとなったワークショップに向けた準備では、普段はあまり使う機会のない工具を用いた作業に取り組んだのですが、そういった作業が好きな利用者さんがたくさん活躍してくださり、よい機会になったと感じています。また、LPW さんとのコラボや、イベントに立ち寄られた学生さんがボランティアとして来てくださることになるなど、たくさんのつながりも生まれました。出展した自分たちにとっても楽しい1日になりました。



参画団体

加音西京極作業所
<https://npo-kanon.org/>



京都府共同募金会
<https://akaihane-kyoto.or.jp/>



京都市ユースサービス協会
<http://ys-kyoto.org/>



若者と家族のライフプランを考える会
<https://lpw.kyoto/>



京都市人権擁護委員協議会

京都民事調停協会

京都市長寿すこやかセンター
<http://sukoyaka.hitomachi-kyoto.jp/>



主催

京都市福祉ボランティアセンター
<http://v.hitomachi-kyoto.jp/>



イベントを 終えて

子どもから大人、当事者や支援者、ボランティアなど、たくさんの人が関わり、ともに楽しむことができたイベントとなりました。今後もボランティアセンターでは、様々な立場の方の思いを発信し、一緒に考え、ふれあう機会づくりを通じて、誰もが共に暮らせるまちづくりを目指します。

出会い、つながる きっかけの場所

作品展示・ワークショップ

2022(令和4)年9月21日～10月24日、ひと・まち交流館 京都にて、社会的なつながりが希薄で孤立している方や障害のある方が、「思い思いの形で参加できる」作品展とワークショップを実施しました。

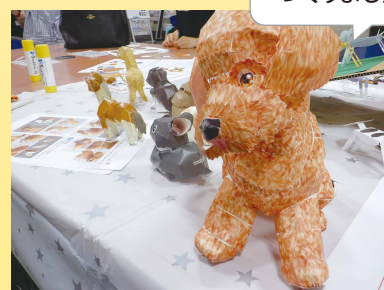
心の内にある豊かな世界を様々な参加の形で表現し、「つながる喜び」を感じるイベントとなりました。また、来場した方も作品にふれ、ワークショップに参加することで、その豊かな世界に出会うきっかけになりました。



作品の募集と、好きなものについてのアンケートを実施。作品は68点の応募、アンケートは140件の回答がありました。

01

START! 準備



2日かけて
つくりました!

07

京都市ふしみ学園の職員さんより一言「コロナ禍で見に来られる方との交流が減っていたので、出展した皆さんにとって良い機会になったと思います。」

06

犬のペーパークラフト。紙でできたとは思えない出来栄です。

クリアすると手づくりの木製キーホルダーがもらえました。うれしい ^^



体がトゲトゲしてて、ファンタジーな見た目でもてかっこいいんですよ!

アルマジロカゲって初めて知りました!



出展者の手づくりのおもちゃ。両手でそうっと紐をひっぱり、ビー玉をゴールに運びます。誰もが真剣になりました。

08

09

昆虫や動物のリアルなフィギュアを並べて、出展者が生態やお気に入りポイントを解説しました。

ワークショップの様子



このメニューは
どこだろう？



和食かな？

折り紙が
大好きです



02

アンケート結果から集まった『好きなもの』を分類中。悩みながらも協力して、作品を完成させました。

03

展示物のまわりを彩る飾りも手づくりで準備しました。たくさんの折り紙で華やかに。

04

なづな学園の職員さんより一言「利用者さんたちが制作された作品をたくさんの方に届けるのが自分たちの仕事です。」

思い思いの形で 参加について

参加の形は様々。自身の作品を応募したり展示する参加もあれば、作品を見に行ったり会場でワークショップを体験する参加もあります。また、会場に足を運ばなくても、アンケートに協力したり、飾りを作ったりするなど、それぞれが自分に合った形で参加を楽しむことができました。



10

ワークショップでペーパークラフトに挑戦中。教えたり、教えてもらったりしながら楽しくつくりました。

11

普段、交流会で楽しんでいるボードゲームを、ワークショップの中で体験してもらいました。

初めてでわかる
かな…ドキドキ



大丈夫! 遊び方は
何回でも聞いて
ください!

作品の展示



他の方の好きな
ものや日常を知れて
面白かったです

作品を見ながら
いろんな人と話が
盛り上がりました!



05

展示スペースが
作品でいっぱいになりました。

思い思いの参加から 見えたこと

自分に合った形で参加することで、協力できた喜びや、他の人と交流ができた楽しさを感じることができました。また、作品展示を手伝う中で、当初迷っていた作品の応募を決断する方や、このイベントをきっかけに他のイベントにも興味を示す方もいました。自分に合った形で参加できたことが、その方の自信や意欲にもつながりました。





子どもの居場所づくり 「支援の輪」サポート事業

子どもの貧困や孤立を背景に、子どもの育ちをサポートする「子ども食堂」や「学びの場」が増えています（下図）。2020（令和2）年度から本事業（京都市委託事業）を開始して、市内の11区社協とともに子どもが安心して暮らせる地域づくりを進めています。

----- 子どもの居場所づくりシンポジウム ―子どもが地域とつながるために― -----

2022（令和4）年11月19日、下京区のKYOCA（京果）Food Laboratoryで、子ども食堂等が持つ価値や、地域と新しいつながりのカタチを深めるシンポジウムを参集とオンライン配信で開催し、約120名が参加しました。

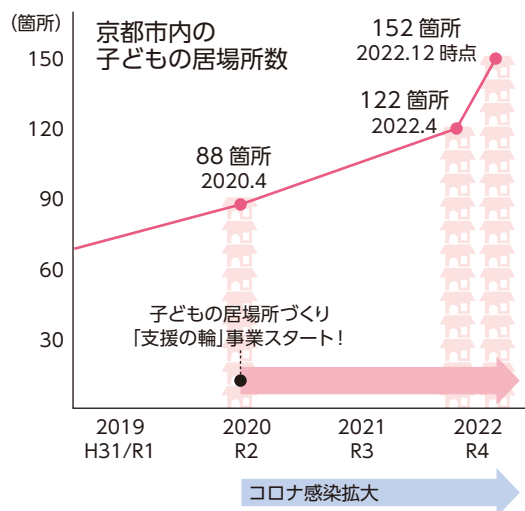
支援と交流の居場所

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長の湯浅誠さんが、「子ども食堂が持つ価値―こどもまんなか社会」と題して講演されました。湯浅さんは「**みんなの中で困っている人を包み込む居場所と、困っている人をみんなで支え合う居場所の 2 通りある。**」「**すべての子どもに、地域の中に両方の居場所が一つでも多くあるこ**

とが大事」と説明され、「第三の居場所（サード・プレイス）として、学校や家庭とは対立しない」とも述べられました。

楽しさがベース

後半は「子どもの視点に立った、子どもの居場所」をテーマに、子ども食堂などの活動をする2団体と学校関係者らがトークセッションを行いました。「活動を続けることが大事」「**ワクワク感を持ち、スタッフ自身も楽しめるように**」などのメッセージがあり、参加者からは「自分たちが迷いながらも活動を続けていたことが間違いなかったと救われた」「学校をはじめ様々な立場、視点から話を聞いたことがよかった」との声がありました。



福祉事業を始めるなら

賠償責任保険は必須です！

福祉事業者総合補償制度

「まごころワイド」をおすすめします！

充実の賠償責任補償制度、
安価な傷害見舞金補償制度など
必要なプランを組み合わせでご加入いただけます。

福祉専門チームによる安心の事故対応、京都市社会福祉協議会、
京都府社会福祉協議会が提供する福祉の現場に合った内容です。

詳しい補償内容はこちらまで

福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店

京都の総合
保険代理店 **株式会社 エスアールエム**

専用TEL **075-255-0883**

福祉の保険
ホームページ **www.srm-net.co.jp/**

引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社

この広告は保険の特徴を説明したものです。
詳しくは商品パンフレットをご覧ください。

ボランティア活動には「ボランティア保険」
イベントを開催されるときには「福祉行事保険」も併せてご利用ください。

子どもの居場所インタビュー調査

----- 子ども食堂の可能性を探る -----

子どもの居場所の原動力や仕組み、地域づくりの可能性などを探る目的で、2022(令和4)年8月から10月にかけて14団体の活動者にインタビューを行いました。

分析結果から、大切な3つの「空間」(右図)があることが浮かび上がりました。また、様々な活動者による多彩な活動スタイルには、「多様性」と「包摂性」が共通のキーワードになっていることが見出されました。

詳細は事業ホームページに掲載中です。

子どもの空間

遊ぶ、学ぶ、休む
権利が大切に
されている



開かれた空間

子どもを中心に、
多様な人の出会い・
役割創出の場と
なっている



参加の空間

交流があると、
元気になる、
にぎわいの場
になっている

----- 活動スタートブックを発行 立ち上げのポイントを紹介 -----



コロナ禍で活動中止を余儀なくされた期間にも「子どもの居場所づくりを始めたい」との相談や問い合わせが寄せられたことから、活動スタートブックを発行しました。

ブックでは、居場所のコンセプトや開催地域と会場、予算に応じた開催規模・頻度、広報、安全面などに必要なポイントを紹介し、立ち上げを考えるとときに活用できるワークシートも添えました。

事業ホームページからダウンロードできます。

<https://kyoto-kodomo.jp>

子どもの居場所づくり支援の輪

検索

トップページ



ダウンロードページ



子どもの居場所づくり学習会

子どもの権利を学ぼう 参加者募集 2月14日開催



子どもの居場所づくりに関わる活動者などを対象に、「子どもの権利を学ぶ講座&ワークショップ」を開催します。「子どもが安心できる場」や「子どもの話をきくこと」を体感的に学びます。

日 時：2023年2月14日(火) 午後2時～午後4時
場 所：ひと・まち交流館 京都 3階 第4・5会議室
講 師：長瀬 正子さん(佛教大学 社会福祉学部 准教授)
参加費：無料
申 込：QRコードからお申込みください。
2月10日(金) 午後3時締切(30名 先着順)
お問い合わせ先：地域支援部 TEL 075-354-8732

申込先



地域支援部

市域全体の地域福祉活動の発展・充実を目指し、各区社協をはじめ、関係団体・機関等の多様な主体との連携を図りながら、様々な事業を推進しています。

もっとすてきな伝えるデザインを



PR広報の
コンサルティング



WEBサイト
企画制作運営～
システム開発



団体、企業の
ブランディング



紙媒体の
企画・デザイン



イメージ写真
プロデュース・撮影



取材～文章作成
コピーライティング

一度ご相談ください

特定非営利活動法人

やさしいデザイン

TEL: 075-315-9072 MAIL: info@yasashiidesign.jp

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地 京都リサーチパーク スタジオ棟 101



～認知症の人の思いを聴くことから始めよう～



認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを進めるため、世界アルツハイマーデーの2022(令和4)年9月21日に、認知症の人とともに私たちができることを考えるフォーラムを開催しました。フォーラムの第1部では、認知症の人の「やりたいこと」に、様々な人とともに挑戦する活動を紹介。第2部では、認知症サポーターや認知症に関わる専門職等、様々な立場の人と、認知症の人とともにできることをテーマに意見交換しました。

第1部 活動紹介

地域の居場所づくり[チーム上京]



「地域に貢献したい」「地域とつながりたい」という認知症の人の思いから始まった取組

認知症の本人同士のつながりの場づくり[さんげつ会]



「認知症の本人同士でつながる場をつくりたい」という若年性認知症の人の思いから始まった取組

地域とのつながりづくり[チームまちやキャンパス]



認知症の夫とその妻が、地域の高齢者がつながれる場について、大学生や専門職とともに考える取組

認知症カフェでの取組[チームおれんじサロン ひと・まち]



若年性認知症の人の「やりたいこと」の実現に向けて、ともに挑戦する取組

フォーラムで参考として紹介したカフェほうおうの取組



宇治市内にある京都認知症総合センターで開設されている常設型認知症カフェ。フォーラムでは、自動車メーカー担当者と考える運転免許や移動支援、キャッシュレスサービスについての意見交換会の開催等の紹介がありました。

参加者の声

- 認知症の人が、「地域の中でもっと人とつながれる場がほしい」と発言されていましたが、この思いは様々な人に共通するものでは。
- 本当の意味で人とつながれる場をつくるには、認知症の人の思いを聴き、人とのつながりを広げていくことが大切であると改めて感じた。

京都市長寿
すこやかセンター

住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らすことができるよう、高齢者に関するご相談（生きがいづくり、認知症、成年後見制度、生活、介護）に応じるとともに、役立つ知識が得られる講座等を開催しています。 <http://sukoyaka.hitomachi-kyoto.jp/>



メガネのお悩み何でもご相談ください

「手持ちのメガネがぼやけて見えにくい」、「パソコン、スマホを使うと目が疲れる」、「紫外線が心配」、「メガネがすぐずれてしまう」など、何でもご相談ください。様々な用途に合わせたレンズ・フレームをご提案いたします。

定番のセット商品も
あります！

——— メガネセット (レンズ付き) ———

近視 遠視 乱視 老視 **¥4,400**より

——— 両用メガネセット (レンズ付き) ———

遠近 中近 近々 **¥9,900**より

●営業時間 全店10:00～19:00[全店水曜日定休] @ogiopticart



北大路店
075-417-3154
堀川北大路西へ100m



中立売店
075-441-3571
大宮中立売西へ50m



円町店
075-803-2880
西大路太子道バス停前



大宮高辻店
075-803-1722
大宮高辻西へ100m



東山二条店
075-762-1115
東山二条西へ100m

Optic art
オブティック・アート

眼鏡卸売

※各種クレジットカードご利用頂けます。

<https://www.oa-ogi.jp>

オブティックアート

検索

～市民向け介護講座 排泄トラブル解消法～

社会福祉研修・介護実習普及センターでは、様々なテーマの介護講座を開催し、介助に必要な知識や技術を学んでいただいています。

今年度は新しい試みとして、西京ふれあい地域福祉センターを開放し、西京区社会福祉協議会と小規模多機能かたぎはらと連携して「排泄トラブル解消法～排泄のしくみとおむつの基礎知識を学ぶ」を実施しました。

この講座では「時間の都合や会場が遠方等の理由から介護講座に参加できない」といった方に対して、近隣の地域で開催し介護について学んでいただきました。また会場となる社会福祉施設の取組を知っていただき、住民の方と福祉施設とのつながりを持っていたく機会となりました。

社会福祉研修・介護実習普及センターでは、市民

を対象とした講座以外に、社会福祉施設の介護専門職を対象とした介護研修を実施しています。実技を通じて、わかりやすいポジショニングやシーティングなどの講義を開催しております。ぜひ当センターの研修をご活用ください。

参加者の声

- これまで介護を受ける側の本人が何に困っているのか考えず介護してきましたが、この講座で「介護する本人の現状を知ることが大切」であることを教わりました。
- 介護を受ける本人の身体状態に合ったおむつを使用することで、介護する側・介護される側の生活が快適になることを理解できました。



市販用の高齢者用おむつの吸水実験中の様子



吸水したおむつの重さや肌触りを体験してもらいました

研修情報はこちら▶

みやこけんしゅう

検索



社会福祉研修・
介護実習普及センター

京都市内の社会福祉施設・団体職員を対象に、組織運営や援助技術、介護技術、認知症介護について研修を実施し、職員のサービスの質の向上に努めています。市民向け介護講座も実施しています。

歴史ある大本山
東福寺のお墓

新春 無料見学会・仏事相談会

1月28日(土)～2月12日(日)

宗旨・宗派 不問 ◆ご見学・資料請求はお電話にて◆ 永代供養塔

永代供養塔「結縁之塔」新塔完成

お墓が
遠方にあり
お参りに
行けない

子孫に
負担を
かけたくない

お寺との
お付き合いが
面倒
(寄付金等)

跡継ぎ
がいない
管理
できなくて大変

お墓を
建立
したくない

永代供養は新しいお墓のかたちです。
信頼できるお寺に供養を託して安心してご先祖様にお眠りいただけます。

東福寺善慈院 永代供養塔「結縁之塔」受付センター

0120-0120-696-000

お電話でも
無料相談
受付中

ひとまちWi-Fi設置!!

Web会議用のWi-Fiが利用できるようになりました!

Web 会議用の Wi-Fi をご利用いただけます。

アクセスポイント機器を貸し出しいたしますので、ご利用希望の団体は受付にお申し出ください。

使用方法

- ①会議室予約時や利用日当日などに受付にて Wi-Fi 機器希望の旨、お申し出ください。
- ②アクセスポイント機器を貸し出します。
- ③ご利用者自身で接続してご利用ください。



※注意点※

- ①Zoom などを使用した Web 会議にご利用ください。
ホームページなどの閲覧は KYOTO Wi-Fi をご利用ください。
- ②ハイブリッド Web 会議のホスト用パソコンとして2〜3名までの接続が可能です。
- ③貸し出しは会議室のみで、和室、児童室、作品展示コーナー等ではご利用いただけません。

会議室予約専用電話：075-354-8719（受付：午前9時 00 分～午後5時 00 分）

ひと・まち交流館 京都
管理部

一般会議室の貸し出しは、設置目的に合致する活動のための利用に限り貸し出しいたします。営利、政治、宗教活動など他の利用者や市民に迷惑となると思われる場合は、使用をお断りいたします。ひと・まち交流館 京都：075-354-8711



ご寄付のお礼 貴重な厚志ありがとうございました。（敬称略）



令和3年

12月 関西遊技機商業協同組合
京都南ライオンズクラブ
京都洛翠ライオンズクラブ
京都洛陽ライオンズクラブ
京都北ライオンズクラブ
京都紫明ライオンズクラブ
京都むらさきライオンズクラブ
京都淀ライオンズクラブ
舞鶴ライオンズクラブ
ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区
株式会社ホテルプリンセス京都
京セラ株式会社従業員一同
京セラ株式会社 本社
京セラ労働組合 京都支部

令和4年

2月 一般財団法人国際文教慈善基金会
一般社団法人生命保険協会 京都府協会
京都やわたライオンズクラブ
3月 一般財団法人国際文教慈善基金会
上田鍍金株式会社

5月 京都洛南ライオンズクラブ
京都葵ライオンズクラブ
京都紫明ライオンズクラブ
京都西ライオンズクラブ
京都鳥羽ライオンズクラブ
京都むらさきライオンズクラブ
京都乙訓ライオンズクラブ
京都南ライオンズクラブ
京都賀茂ライオンズクラブ
京都洛陽ライオンズクラブ
山城ライオンズクラブ
京都淀ライオンズクラブ
舞鶴ライオンズクラブ
京都北ライオンズクラブ
株式会社イシダ
6月 京セラ電子部品 水晶海外営業部一同
8月 京都南ライオンズクラブ
京都朱雀ライオンズクラブ
京都桂ライオンズクラブ
京都葵ライオンズクラブ
京都紫明ライオンズクラブ
京都乙訓ライオンズクラブ

8月 京都洛西ライオンズクラブ
京都醍醐ライオンズクラブ
野洲ライオンズクラブ
9月 京都南ライオンズクラブ
京都鴨川ライオンズクラブ
京都洛翠ライオンズクラブ
京都北ライオンズクラブ
山城ライオンズクラブ
京都淀ライオンズクラブ
京都鳥羽ライオンズクラブ
舞鶴ライオンズクラブ
野洲ライオンズクラブ
株式会社エスアールエム
株式会社三光商事
富井 紘久
10月 京都やわたライオンズクラブ
アデコ株式会社 京都支社
11月 眞松庵
株式会社アーキエムズ
公益財団法人京遊連社会福祉基金

※その他複数の匿名の方からもいただいています。

福祉のまちづくり 188号 2023年2月1日発行

発行／社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

TEL. 075-354-8731 FAX. 075-354-8736

ホームページで京都市社協の活動を映像でご覧いただけます。
携帯電話でも右のQRコードから簡単アクセス!



京都市社協



〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
（河原町五条下る東側）「ひと・まち交流館 京都」
【発行人】小石玖三主 【編集人】芳賀正昭 【編集協力】IG株式会社



京都市社会福祉協議会では、京都市における環境負荷の管理・低減の規格であるKESステップ2を認証取得し、環境負荷軽減に努めています。



この広報誌は一部
共同募金の配分金
で発行しています。

